

はじめに

諏訪形誌活用委員会委員長 柳澤 公一

5年の歳月をかけた「諏訪形誌」が令和2（2020）年に刊行されました。その後5年をかけて、「諏訪形誌を歩く」と題してウォーキングイベントや講演会を実施してきました。その成果としてこの度「諏訪形誌を歩く―続・諏訪形誌―」を発刊することになりました。



『諏訪形誌』刊行事業の目的は、

（１）平安時代のその昔から、この諏訪形には諏訪郷という場があったと言われており、古くから脈々と続く歴史を学び伝える事により、住民がその価値を再認識し、地域への愛着や一体感を醸成する。

（２）諏訪形誌刊行後には、その成果を語り合い住民相互の緊密な交流の促進を図る。

というものでした。

この理念を受け継ぎ、諏訪形誌活用委員会の事業を実施してきました。この冊子の編集にあたり多くの方に協力をいただきましたが、特に、稲垣敦史企画委員には大変なご努力をいただきました。北沢伴康顧問（諏訪形誌刊行委員長）の歴史観を大切にしながら、委員の皆さん方（巻末参照）の衆知を集め、一手に編集作業を進めてくださいました。この冊子の監修者といっても過言ではないと思います。その外自治会や諏訪形まちづくり協議会には大変なご協力をいただきました。また、地域外の皆さん（ナチュラリストクラブ・うえだ）等からも多数のご意見ご指導もいただいております。実際に歩いてみて学んだことをまとめて冊子にしてありますので、今後諏訪形の歴史勉強のために末永く参考にしてほしいと願っております。

なお、本冊子の資料等は、上田市の『諏訪形誌Web版』にも載せてありますのでごらん下さい。